

ビジョン

人とヒグマが安心して暮らせるまち・さっぽろの実現(仮)  
～ゾーニング管理による共生を目指して～

基本目標と施策の方向性

基本目標1  
人の生活圏へのヒグマ侵入抑制策を推進します

(1) ヒグマを寄せ付ける原因となるものへの対策を強化します

- 農地、家庭菜園の電気柵その他効果的な対策の普及
- 廃棄された作物、肥料、家庭ごみ、コンポスト、ペット等の餌の適性な管理方法の促進
- 市民の意識づけ、実践の必要性を啓発

電気柵貸出・購入補助      電気柵等の広報・講習

(2) ヒグマが利用し得る緑地の管理に関する取組を拡充します

- 住民と協働の草刈り強化
- 放棄果樹伐採の継続・促進
- 森林整備のあり方検討

草刈り・放棄果樹伐採      森林整備

(3) ICT等新技術の利活用により効果的なヒグマ対策を推進します

- 河川敷・緑地等の監視強化
- ドローン、個体識別可能なカメラ等の導入検討

ドローン・カメラ

【指標とする事項】

- 市街地ゾーンでの出没件数
  - ✓ 草刈り実施地区数
  - ✓ 電気柵購入補助制度利用件数
  - ✓ 農家での被害額

基本目標2  
出没時には市民の安全を最優先に迅速かつ的確に対応します

(4) ヒグマ出没時の体制を強化します

- 現場対応時の体制整理、関係機関の間での情報共有のあり方検討
- 従事者への安全対策の強化
- ハンター育成・研修の場の確保

市街地出没訓練      ハンターの育成

ベアドッグ等？

(5) 市民への情報発信の手法や内容を整理し、的確かつ迅速に情報を提供します

- SNS等の活用
- 緊急時の体制構築

SNS等での積極活用      報道機関との協力・連携

【指標とする事項】

- 人身事故件数：年間0件を継続

基本目標3  
市民のヒグマへの意識を醸成します

(6) ヒグマについて学ぶ場を様々なかたちで提供します

- ヒグマ講座の拡充、担い手の確保に向けた検討
- パネル展などイベントの展開

ヒグマ講座      フォーラム・パネル展

(7) 事業者や農家等に対してヒグマ対策を普及し、市民が安心して利用できる仕組みを構築します

- 公園管理者、関係機関への学習の場の提供
- 事業者への認証制度を立ち上げ、市民が郊外の施設を安心して利用できる仕組みづくり

認証制度

【指標とする事項】

- ヒグマ対策を自分事と捉えている人の割合

横断的な施策

モニタリング(生息状況調査、現地調査時DNAサンプル採取)

ヒグマ防除重点地区の設定

周辺自治体との連携強化